

# 大網ロータリークラブ

## Club Weekly Bulletin

■クラブ創立：2000年1月13日  
 ■例会日：毎週水曜日（12：30～13：30）  
 ■例会場：中部コミュニティセンター TEL0475-73-3337 FAX73-4360  
 ■事務所：〒299-3251 大網白里町大網450-6 ユアサビル2階 TEL0475-70-0200  
 ■会長：宮間 文夫 幹事：大越 将司  
 ■広報・公共イメージ向上委員会 委員長 石田 英世 副委員長 小高 徹



2018年8月22日(水)

第20巻 第 7号

通巻第867

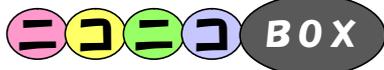
<http://www.oamirotary.com>  
 E-mail [rc@oamirotary.com](mailto:rc@oamirotary.com)



インスピレーションになろう

### 本日の例会

点 鐘 会長 宮間 文夫  
 ソング 手に手つないで  
 会長挨拶 会長 宮間 文夫  
 幹事報告 幹事 大越 将司  
 プログラム 卓話 高中 洋 様  
 「自然災害について」



斉藤 幸男 会員

誕生日有難うございました。  
 何歳になったか忘れました!？

### 会長挨拶

宮間 文夫 会長



皆さん、こんにちは！いかがお過ごしでしょうか？  
 今日、台風13号が接近している為、悪天候になっておりますが、古山先生におかれましては、卓話をしていただけるという事で、ありがとうございます。

さて、先日、茂原ロータリークラブがホストクラブとなって第1回、会長幹事会が開催されました。私は、この1年間、たびたび言葉に出すと思いますが、まだ入会間もないのに会長になって恐縮ですとお話しさせていただいたと同時に、恵まれています。ともお話しさせていただきました。それは、ガバナー補佐の高山会員、補佐幹事の石田会員が、当クラブにいらっしゃる事、それから、会員の皆様方が常日頃サポートしていただいているからです。本当に感謝申し上げます。

今、甲子園では、高校球児が熱戦を繰り広げています。過去には、星陵と明德義塾の試合で、松井選手に対して全打席の5打席全て、敬遠という事がありました。松井選手は、バットを1回も振らずに甲子園を去っていきました。その時の高校生松井選手は、インタビューに答えて「相手チームの作戦ですから、自分は何も言えません！」と答えています。そして、明德義塾に対しては、帰れコール、その後も10年間バッシングを受けました。甲子園には、そんなドラマがたくさんあります。

先日例会におじゃまさせていただきましたサッカー選手の宮間あやについても、たくさんのエピソードがありますが、ワールドカップで優勝する4年前のワールドカップのドイツ戦、前半0対2でリードを許していましたが、私が見ていても、なでしこジャパンのプレーは素晴らしく、後半のプレーに期待していました。ところが後半が始まるとピッチにあやの姿はありませんでした。その時の大橋監督は、帰国後、直ちに代表監督を辞めました。理由は、ドイツ戦でのハーフタイムに、日本サッカー協会の指示で、選手交替をさせられた。自分の意志でゲーム監督が出来ないのですから。という事だったそうです。その後、当時コーチであった佐々木さんが監督になり、大橋監督が育てたなでしこジャパンが世界一となったのです。今、ボクシング連盟なども、スポーツ界はいろいろ取り沙汰されていますが、東京オリンピックに向けて、改善され、素晴らしい世紀の祭典になる事を願ってやみません。

最後に会員の皆様には、ご自愛下さいまして、ロータリー活動に邁進していただきますようお願い申し上げます。挨拶と致しますありがとうございました。

### <8月9日(木)開催 第2回子ども食堂 かきつばた>



例会日	8月8日	7月25日
会員数	31	31
出席	19	20
欠席	12	11
MU	0	1
免除	2	1
出席率	67.74	70.97



## 卓 話

古山 豊 先生



### 幻の養安寺檀林 舎、調査からの報告)

養安寺檀林 (碑文谷檀林・上総山田談所)・蔵王寺 (通称御嶽寺)

養安寺檀林とは、碑文谷法華寺によって上総国養安寺村の蔵王寺=御嶽寺 (現在廃寺) に設けられた檀林であるが、その実体はあまり知られていない所謂「幻の檀林」である。

養安寺村 (大網白里市養安寺) の御嶽神社近くにあったということだけで、土地の人に聞いても、御嶽神社近くの杉林を指してあの辺だと教えてくれた。そして古い墓石のほとんどは近くの寺や共同墓地に片付けられたとのことであった。しかしその後、幾度か近辺の寺や墓地を巡ったが檀林と思しい手掛かりをつかむことは出来なかったが、深い山裾に寺・檀林が存在したことが分かったので、長靴持参で幾度も調査に出掛けた。

神社の第一鳥居からほど近い所にある石碑の表には「南無日蓮大菩薩 南無妙法蓮華経六百遠忌報恩塔小湊日諦 (花押) と刻字されている。裏面上部には、題目勸面々とありその脇に小さな文字でイチ、サト、タツ、トヨの如く女性と思われる名が数十名ほど刻字されているが、摩耗著しく判読困難な文字も多い。下部には養安寺村5名、山口村 (現東金市) 5名、小西村2名の氏名が刻字されている。碑が建立されている場所は、現在農道となっているが、当時は蔵王寺・養安寺檀林の入口であったと思われる。道幅は2m足らずで山裾を切り開いて造られた簡易な道である。

碑から凡そ300m入った山中は、杉林に囲まれ明らかに整地されたであろうと思われる平地が数箇所ある。かつて蔵王寺が建立されていたと思われる所は、東西約30~40m×南北約80mほど拓かれた平坦地となっており、西側は山肌が顕わで数メートルの崖となっている。地積から推察すると、寺・檀林はそれほど大きなものであったとは考えられない。また学僧の宿舎が寺域にあったとも思えないので、寺の一隅や同宗派の寺院や、あるいは檀信徒の家を間借りしていたものか、さまざまな想像が巡ってくる。

檀家の墓碑と思われるものが数基、その先には檀林歴代碑が並んでいる。比較的大きな旧碑三基、歴代碑五基等々。その一つには「檀林舊跡 金峯山御嶽寺」とあり、文化7 (1810) 年9月に建立されている。日愷、日統、日翁聖人や29世了玄日愷代、眞珠院妙持日貫の名も確認できる。

不受不施派について、『禁制不受不施派の研究』註3は次のように記している。「抑も蔵王寺に養安寺檀林が開設される経緯を辿ると、武州碑文谷法華寺が大きく関係している。碑文谷檀林には、各本寺に談所・学室があったが、戦国時代の末頃知らぬうちに消滅してしまったようで、これは各本寺学室とも同じことが言えるようである。そのような状況のなかで、これら諸本山所属の学徒は江戸初期に成立した飯高・中村・大沼田・小西等の諸檀林に摂取され、受不受論対立の激化に伴い不受不施の学徒のための檀林が設置されるようになった。」

碑文谷法華寺13世守眼院日晴 (~1664) は、養安寺村に碑文谷檀林を設けて学徒を育成した。埴谷長光寺に所属する法華寺13世、同檀林二祖勸院日禅の本尊によれば、この蔵王寺談所を養安寺檀林と呼び、また当時の不受不施・不受不施に関する文書にはこれを上総山田談所といっている。

養安寺檀林は、日晴・日禅とつぎ、日禅の時最も繁盛したようである。寛文5 (1665) 年のころは寺領供養、御朱印地受領で日蓮宗諸派諸山は手形を提供するや否やで一宗あげて騒然としているとき、不受不施の一方の統領である日禅は養安寺檀林にあって学徒を養育、この年10月末になって江戸表にきたことを安国日講は、『破鳥鼠論』に載せている。日禅は、11月23日小湊誕生寺日明等6ヶ寺と悲田手形註4を出して御朱印を受けるが、これによって信徒のみならず世人の指導を受け、元禄11 (1698) 年11月、碑文谷法華寺 (現圓融寺)、同末寺谷中感応寺は天台宗に改宗させられている。従って、碑文谷檀林 (養安寺檀林) は名実と共に消滅していった。

